

科目名	児童英語基礎論		
担当教員名	住吉 紀六		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

位置づけ:

英語英文対象の「小学校英語指導者養成課程」の必修科目である。

目 標:

児童英語の指導に必要とされる実践的なテーマの基本を広く総合的に学ぶ。

概 要:

小学校英語の展開に必要とされる事項 その理念や捉え方、資格や制度、また小学校教育の仕組みと児童英語の関係等、教育実践に関わる具体的な事項の基本を総合的に学ぶ。

内容

講義の授業形態で基本事項を教授する。また、参考書の活用やレポートで授業を発展・深化する。以下の学習事項の中から半期15回を標準として選択・配分する。

小学校英語指導者の資格と登録制度

1. 小学校英語指導者資格認定協議会
2. 指導者資格の認定と登録制度
3. 資格の更新

小学校英語の展開

1. 英語活動の捉え方<理論編>
2. 英語活動の進め方<実践編>
3. 英語活動の実施実態

小学校英語指導者とその研修

1. 小学校英語の関係指導者
2. 学級担任(HRT)
3. 外国人指導者(ALT)
4. 小学校英語指導者(JTE)
5. 小学校英語指導者の研修

英語活動と英語教科

1. 小学校の教育課程と教科
2. 小学校英語活動と中学英語
3. 小学校英語活動と教科としての英語

総合学習と教育改革

1. 教育改革の意義
2. 総合学習と教育改革
3. 総合学習における英語活動の意義

確認試験を60点、レポート・出席・授業参加等の平常点を40点として合算し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない。（必要により資料を配布する）

【参考書】認定協議会（編）『特別資格認定講座』J-Shine 事務局

樋口忠彦（編）『これからの小学校英語教育』研究社

文部科学省（編）『小学校英語活動実践の手引き』開隆堂出版

松香 洋子『小学生は英語が大好き』（1・2）松香フォニックス研究所

文部科学省（編）『小学校英語1・2』（DVD）放送大学教育振興会

科目名	児童教育理論		
担当教員名	住吉 紀六		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

位置づけ:

英語英文対象の「小学校英語指導者養成課程」の必修科目である。

目 標:

児童教育全般にわたるテーマの学習を通して教育理念の形成や教職・教育実践について学ぶ。

概 要:

児童教育の理念の形成に関わる諸問題、教職の意義や役割や職務内容に関わる問題、児童の指導理論とその方法、その他教育実践に関わる諸問題の基本について総合的に学ぶ。

内容

講義の形態で基本事項を教授する。また、参考書の活用やレポートで授業を発展・深化する。以下の学習事項の中から半期15回を標準として選択・配分する。

児童教育の意義

1. 教育の意義と児童教育
2. 児童観の意義と類型
3. 児童教育観の類型とその変遷

児童と教育環境

1. 児童の素質と環境
2. 環境の分類と教育環境
3. 児童文化と児童文化財

家庭教育と学校教育

1. 児童と親の教育権
2. 学校と家庭の教育的役割
3. 家庭と学校の協力

家庭と教師

1. 親の条件と親教育
2. 教師の理想像
3. 親と教師の関係

問題児の指導と特殊児童の教育

1. 問題児の種類
2. 問題児の指導
3. 特殊児童の教育

小学校の教育

- 1．小学校の制度
- 2．小学校の教育方法
- 3．小学校教育の課題

評価

確認試験を60点、レポート・出席・授業参加等の平常点を40点として合算し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない。（必要により資料を配布する）

【参考書】平野 智美（編）『教育の理論』八千代出版

佐藤 三郎（編）『学校教育の基盤』協同出版

文科省（編）『生徒理解に関する諸問題』財務省印刷局

文科省（編）『学級担任による生徒指導』財務省印刷局

科目名	児童心理学		
担当教員名	住吉 紀六		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

位置づけ:

英語英文対象の「小学校英語指導者養成課程」の必修科目である。

目 標:

児童の理解と教育に関わる心理学のテーマやその諸問題の基本について、学童期を中心に学ぶ。

概 要:

児童心理学上の児童の理解と教育上の諸問題について、発達の諸相や自己実現、集団活動、家庭と学校等の諸領域の基本を、学童期を中心に総合的に学ぶ。

内容

学童期の児童心理を中心として、次の学習事項の基本を教授する。また、参考書やレポートの活用で授業を発展・深化する。以下の学習事項の中から半期15回を標準として選択・配分する。

発達基礎論

発達の諸相

学習と記憶

学習と動機付け

集団行動と学級集団

パーソナリティ

適応行動と適応障害

教育と教育評価

評価

確認試験を60点、レポート・出席・授業参加等の平常点を40点として合算し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない。(必要により資料を配布する)

【参考書】北尾 倫彦 他 『教育心理学』 有斐閣新書

杉原 一昭(編) 『発達と学習』 協同出版

加藤 義昭(編) 『図説教育心理学入門』 建帛社

日本教育心理学会(編) 『教育心理学ハンドブック』 有斐閣

科目名	児童英語指導実習		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-小学校英語指導者養成課程		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	小学校英語指導者		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

J-SHINE(特定非営利活動法人「小学校英語指導者認定協議会」)から正式に「小学校英語指導者資格」を取得するには、所定の課程を修める必要があります。その課程の中に、「児童英語指導実習」があり、実際に小学校で一定時間以上の指導実習をすることが義務づけられています。この授業は、指導実習へ行く準備として、心構え、知識、技術を身に付けることを目的とします。

前期修了の段階で英検2級レベルの英語力に達していない学生は、実習には参加できません。

内容

前期には小学校英語教育の位置づけや役割、さまざまな教授法、指導計画の立て方などの講義に加え、学生による模擬授業を通して実践的な指導技術を身に付けます。後期は学生一人ひとりが小学校などで「指導実習」を行います。引き続き実践的な模擬授業を中心に、指導技術に磨きをかけます。

評価

課題50点、模擬授業50点により評価を行い、60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

樋口忠彦(他)編集『これからの小学校英語教育 - 理論と実践』研究社